

南アフリカ為替週報

2023年5月11日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(5月4日～5月10日)

USD/ZAR: 18.1706～18.9097

ZAR/JPY: 7.11～7.40 (参照値)

先週1週間の南ア・ランド相場は大幅下落。4日から8日までは対ドルで18.0から18.5の狭いレンジ内の推移が継続したが、9日以降は下落が加速している。9日にここ5か月のレンジ上限である対ドル18.5を抜けた後は10日には2020年5月以来の安値水準となる18.90まで下落した。9日から10日にかけての対ドル下落率は最大で3.2%に達した。先週1週間のランドの下落は他通貨と比較しても突出しており、ユーロや円といった主要通貨に対しても値を大きく切り下げる形となった。

9日から10日にかけてのランドの下落の要因となった可能性が高いのは、電力不足が一段と長期化すると懸念である。7日曜日には発電ユニットが24時間にわたり故障したことで、複数の発電所からの電力供給を無期限に停止したと国営電力会社が発表していた。もちろん、南アの電力不足はマーケットにとって新しい問題ではなく、長期に渡りランドをはじめとする南アの金融市場に悪影響を及ぼしているため、この要素だけで9日から10日のランドの下落を説明することはできないだろう。4月分の米CPI発表を10日に控えて、インフレショックの再来に備えるために(リスクセンチメントに対して敏感な)ランドの売り持ちを作ろうとする動きが拡大したという解釈が妥当なように感じられる。また、10年債利回りが急激に上昇(債券価格は下落)していることを踏まえれば、経済停滞に伴う財政悪化リスクを嫌気する形で南アの債券市場から一段と資金が流出している可能性もあるだろう。

電力不足の問題は、南アフリカ準備銀行(SARB)の金融政策にとって難しい課題を突き付けている。経済活動が阻害され経済の減速リスクが高まる一方で、供給が制約を受けることなどによってインフレ加速にもつながる問題のためだ。SARBは4月25日に公表した金融政策報告書において、計画停電によるCPIの押し上げ効果が2022年には0.6%ポイント、2023年には1.1%ポイントになるという推計結果を示している。SARBのこれまでのタカ派スタンスを考慮すれば、5月25日の次回会合では50bpの追加利上げが実施されると見込んでいるが、経済の状況を考慮すれば困難な選択となることは否めない。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/4	12:00	電力消費(前年比)	3月		-4.5%	-8.7%
	12:00	電力生産(前年比)	3月		-5.6%	-9.7%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(5月11日～5月17日)

USD/ZAR: 17.50～19.50

ZAR/JPY: 6.90～7.70

向こう1週間の南ア・ランド相場は続落する公算が大きい。ランド相場はここまで2か月近く狭いレンジでの膠着状態が続いてきたことから、高金利通貨でのキャリー収入を目的とする短期資金の流入が継続していたと考えられるためだ。そうしたポジションの解消に伴うランドへの売り圧力はしばらく継続する公算が大きい。少なくとも、目前に迫った対ドル19.0を試しにいく可能性は高いように思われる。一方、アップサイドリスクとしては、米債務上限問題の早期解決や、米FRBの利上げ停止観測の広がりきっかけにグローバルに再びリスク選考姿勢が強まるケースが考えられる。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

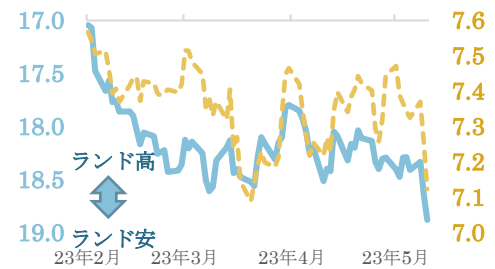
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/11	10:30	鉱業生産(前年比)	3月	-7.3%		-5%
	12:00	製造業生産(前年比)	3月	-5.8%		-5.2%
5/17	12:00	小売売上高(前年比)	3月			-0.5%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

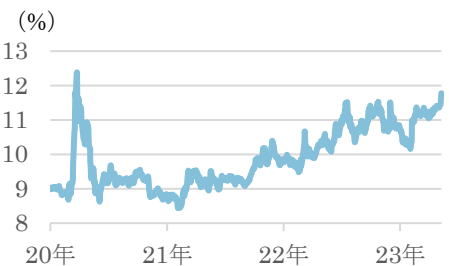
南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



南ア 10年国債利回り



市場の2か月後金利織り込み(*)



* 2か月後スタート、期間3か月のフォワードレートから、3か月JIBARを差し引いている。

(資料:ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

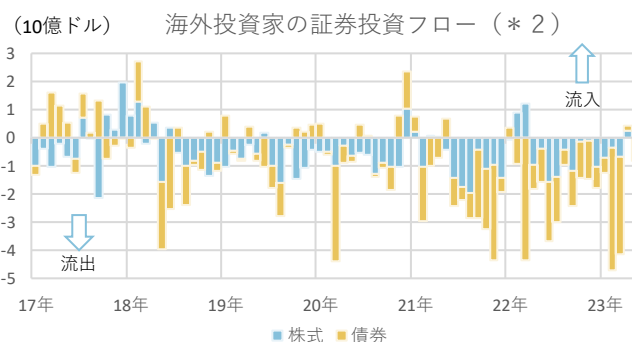
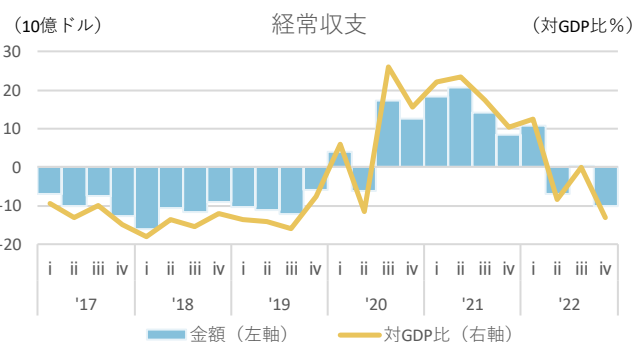
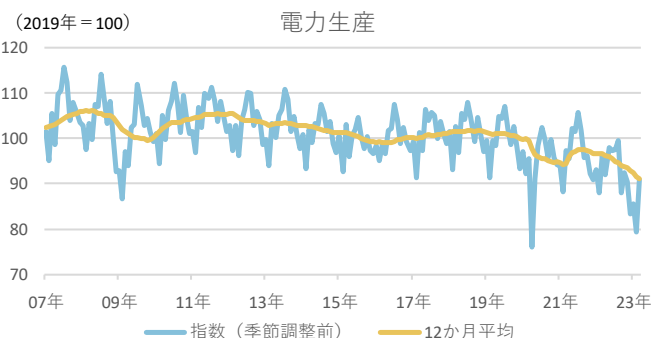
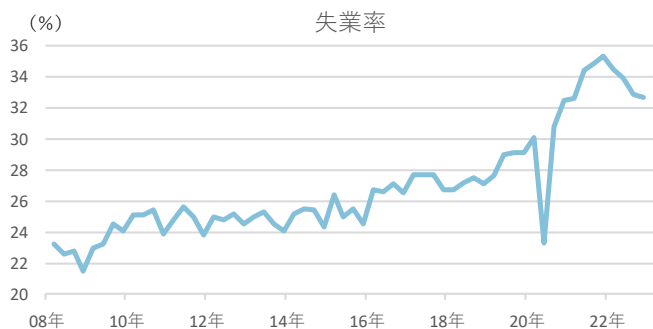
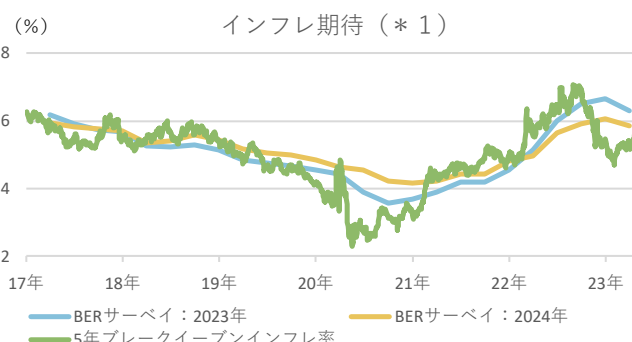
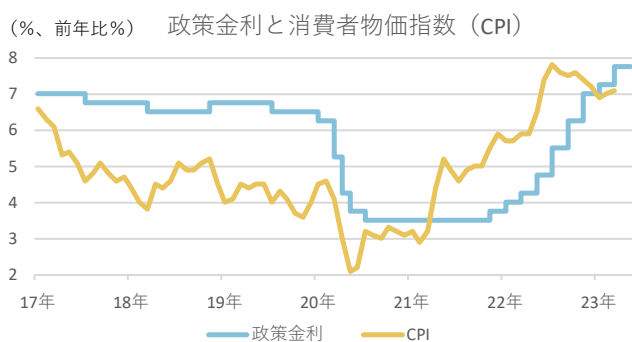
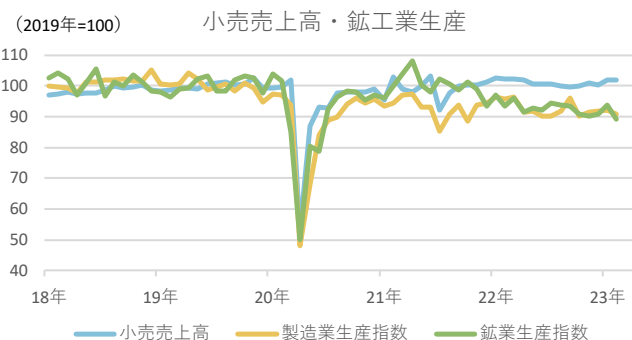
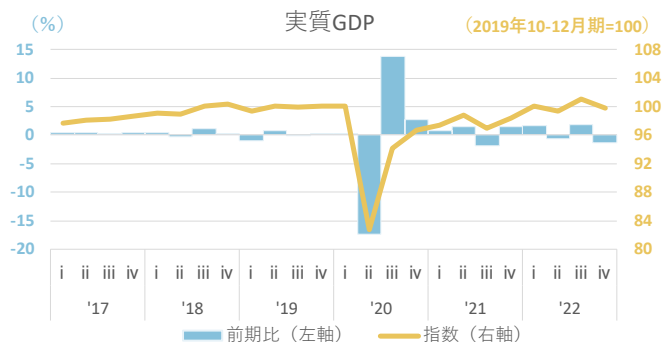
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年5月11日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<主要経済指標の推移>



* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。

経済アナリストや企業などが調査対象となっている。

ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

* 2 : 月次データ。ただし、2023年5月は1日から9日までの累計値。

(資料 ; 南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。